



## アスペンジュニアセミナー参加報告

グローバル通信126号でご紹介したアスペンジュニアセミナーに高校2年生の大河内彬智君が参加しました。昨年10月のオリエンテーションを経て11月から本年1月まで計3回のセミナーが対面で実施されました。どんな議論がされ、どんな学びが得られたのかをご報告致します。

感想をご覧いただく前にこのセミナーの目的・手法などについて情報を再掲します。

### 【目的と効果】

アスペン・ジュニア・セミナーは「よく生きる」ことを古典に学ぶ、高校2年生を対象としたリベラル・アーツ・セミナーです。このセミナーは、東西の「古典」を教材に、参加者による「対話」を通して「よく生きるとは」、「何のため学ぶのか」、「何のため働くのか」、「大切にしたい価値」といった人生の重要な課題について考えることを目的としています。難解な古典のテキストを徹底的に読むことにより高い読解力を養うだけでなく、古典に触れる喜びを体験します。学校の教室とは異なり、正解のない事柄に対して、自分の頭で懸命に考え抜く経験をし、さらに「対話」を通してそれぞれが考えたことを披歴しあうことで、視野を広げ、判断力を高め、将来大きな困難に遭遇した時に何らかの解決の糸口を発見する力を養います。

### 【使用テキスト】

オリエンテーション 芭蕉 「おくのほそ道」

Day 1 アリストテレス「形而上学」 ソロー「ウォールデン」

Day 2 旧約聖書「創世記」 オルテガ「大衆の反逆」

Day 3 森 鷗外「かのように」

### 善く生きるには何が必要か

高校2年2組 大河内 彬智

善く生きるには何が必要か、考えたことはあるでしょうか。私は時折、自分は本当にこのままの生き方でいいのかと悩むことがあり、何が自分にとって一番よい人生なのかと思索していました。そんな折に参加を決意したアスペンジュニアセミナーでは、古典を通じて自分の知見を深め、“善く生きる”とは何かを考えることが出来ます。

まずは一度自分だけで指定された古典のテキストを事前に読み、それから他校の生徒や先生方と対話して意見を交わし、作品の意図を読み取ります。他の人間と自分の意見が完全に一致することなどそうありません。私は対話することで、自分では気付きもしなかった捉え方に何度も出くわしてきました。生徒同士での議論が行き詰ったときは、リソースパーソンの先生が作品に関する新たな情報やテーマを与えてくれます。このサポートが刺激となり、停滞しかけていた議論が再び盛り上がります。他校の生徒と対話することへの不安や緊張も感じるかもしれませんが、相手が初対面であるからこそ気を遣わずに話すことができ、議論に集中することが可能になるともいえます。

自分だけで考える時間も確かに大切ですが、どれだけ一人で考え抜いても新しい発想や発見をすることができず、むしろ考え方が凝り固まって堂々めぐりとなってしまうこともあり得ます。しかし先生の助言や、他の生徒の方々の意見は、そんな自身の乾いた価値観に潤いを与え、新たな視点へと導いてくれることでしょう。

古典とは言わば、数百年前から現代に至るまで遺されてきた知恵の結晶のようなもので、そこから読み取れる価値観は様々でしょう。古典の解釈の数はそれを読む人の数と同じだけあります。明確な答えがないものを理解するなんて難解だと思ふかもしれませんが。しかし古典を読む上で大切なのは無理に他者の価値観を理解することではなく、自分の価値観に他者の価値観という刺激を与え、考え方の選択の幅を広げることだと私は考えています。

松尾芭蕉の『奥の細道』から読み取れる「かるみ」という概念のように、アリストテレスの『形而上学』から読み取れる形而上的経験のように、古典ではその作品特有の、作者が辿り着いた一つの人生観に立ち会うことができます。中でも森鷗外の「かのように」では、「人生のあらゆる価値のあるものは、かのようにを中心にしていく」という台詞が出てきます。これは一体どういうことか。実際に読んでみると理解できますが、読むまではまったく理解できそうもないような考え方も、他校の生徒や先生の力を借りながら少しずつ読み取っていくと、文字と歴史の間に隠された宝を見つけるような感覚になり、非常に楽しかったです。

こういったように、古典は今まで考えたこともないような新しい価値観を私たちに教えてくれます。自分一人では到底辿り着くことが出来ないような、はっと気付かされるような価値観を発見し享受する。これこそが古典の、引いては他者の作品を鑑賞する上での醍醐味と言えるのではないのでしょうか。作品を見るということは、その作品の作者の一部を見るということであり、作者の人生を垣間見る行為とも言えます。それは我々のこれからの人生を支える大きな指針になるのではないかと思います。

他者と対話し、作品とも対話することで、己の価値観が広がり、それは自身の中にある考え方の可能性を広げることにも繋がります。それは将来、何か問題にぶつかったときに自身を成功へと導くための選択が増えるということだと考えられはしないでしょうか。

時間に追われて窮屈さを感じることも多い昨今の世の中だからこそ、一度立ち止まって、古典を通じて過去の人々の生き方を見返して、自分なりの“善い生き方”を探してみる時間が必要なのかもしれません。



## 専攻を考える（国際関係学）ウェビナー（中高生及び保護者対象・無料）の紹介

海外大学を視野に入れて将来の進路を検討している生徒諸君のために、主だった専攻分野でどんなことを学習するのかを知っていただく企画です。今回のテーマは「国際関係学」で、海外の専門家にウェビナー形式でご紹介いただきます。費用は無料ですが、事前申し込みが必要となります。申し込みは各自でお願いします。

テーマ：「沖縄：太平洋の要」

日時：2月21日（水）18：00～18：45

18:00～18:30: ラー・メイソン准教授（イーストアングリア大学）によるレクチャー（英語）

18:30～ 質疑応答（英語&日本語）

費用：無料（通信費は各自の負担となります）

※主催は UPAA (University Partnerships for Alternative Admissions) Japan

海外協定大学推薦制度というのがあり、本校も加盟しております。

国際関係学という学問分野は日本では法学部、政治経済学部、外国語学部、国際教養学部などの学部で学ぶことができます。立命館大学や日本大学では「国際関係学部」という独立した学部が設置されています。今年は1月の台湾総統選挙や11月のアメリカ大統領選挙など誰が選ばれるかで日本で暮らす私たちの生活にも少なからず影響を及ぼすと言われていています。このように政治分野からアプローチすることもできますし、ウクライナを巡っては国際社会の関心の度合いにも温度差が出てきていると言われますが、どのように和平を探っていくのかという紛争解決という分野からも迫ることができます。いずれにしても今この世の中で起きていることがそのまま研究の対象になる訳ですから、実社会との結び付きが大変強い学問分野と言えます。

今回ご担当いただくイーストアングリア大学のラー・メイソン准教授は東北大学（公共政策）を経て、立命館大学などで客員教授を務めるかたわら、日本の複数の大学における研究協力や大学・研究者の交流を取りまとめておられるとのこと。イーストアングリア大学はイギリスの大学ですが日英両国の政治に通じておられ、興味深いお話が聞けると思います。当日言及があるか不明ですが、沖縄の基地問題についても日本人からの視点と海外からの視点でどのような違いがあるのかを知るきっかけになるとよいと願っています。

申し込みは以下の URL より各自でお願いします。

[https://zoom.us/webinar/register/1117025197204/WN\\_AiAfjzSBR8iYiit7I7b9HQ#/registration](https://zoom.us/webinar/register/1117025197204/WN_AiAfjzSBR8iYiit7I7b9HQ#/registration)





ラー・メイソン准教授

イーストアングリア大学  
政治学・哲学・言語学・コミュニケーション学部准教授

ラー・メイソン博士は国際関係学、日本外交政策の准教授です。以前は東北大学で公共政策の准教授であり、立命館大学、名桜大学での客員教授も務め、日本の複数の大学で研究協力やその他の交流を取りまとめています

(UPAA 公式 HP より転載)

## ETS TOEFL iBT 受験料割引キャンペーンの情報

海外大学を目指すに当たり自分の英語力を示す指標はいくつかありますが、残念ながら日本の英検は海外大学の出願には使用できません。最もよく使用されるのは TOEFL です。河合塾海外大進学相談センターより以下の情報をいただきましたので共有します。10%引きといってもあまり恩恵を感じられないかもしれませんが、現在1ドルが約150円ということを考えると、かなりありがたいキャンペーンと言えます。

800 名の方に TOEFLiBT の受験料(US\$245)の 10%割引を提供するキャンペーンです。円安で高い受験料がネックとなっている方に朗報です。2024 年 6 月 30 日 (日) までの試験日で 2 回までの申込に適用されます。

詳細は以下の URL をご確認ください。

[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/coupon/?utm\\_medium=email](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/coupon/?utm_medium=email)

国際基準の英語力の証明に  
**2時間版 TOEFL iBT®**  
受験料が今だけ **10% OFF**  
期間限定 受験料割引コード配布中

ETS TOEFL iBT

## 割引コード利用回数制限

---

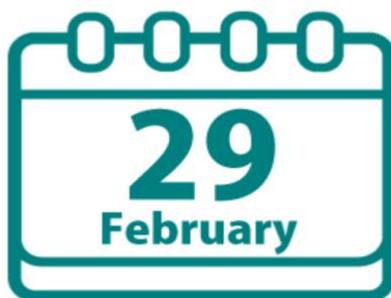


### お1人様につき2回分のテスト申込まで

1回分あたりUS\$24.50の割引が適応となり、受験料がUS\$245.00→US\$220.50になります。  
US\$24.50は日本円で約3,600円相当（2024年1月18日のTTBレート参照）です。

## 割引コード適応期限

---



**2024年2月29日(木) 23:59 JSTまで**

『割引コード適応期限』までに『選択できる受験日』の中から希望の受験日を決定し、お申込みください。

2月29日までに受験日を確定できないといけないので、利用できる生徒は限定的となりますが、スケジュールが決まっている人は利用してみてもいいでしょうか。